

アリス イン クラシックス

Alice in Classics



浅尾典彦

Norihiko Asao



SEISHINSHA

これは無料の立ち読み版
です。本文 80 ページ中、
17 ページだけを抜粋し
て掲載しました。

アリス
イン
クラシックス

浅尾典彦



青心社

はじめに

2010年は、ティム・バートン監督の『アリス・イン・ワンダーランド』が公開されました。大変話題になったこの作品は、ディズニーのアニメ版『ふしぎの国のアリス』の続編にあたるものです。

原作の「不思議の国のアリス」はイギリスの文学で、いわずと知れた児童文学の最高峰として世界的に知られています。

この魅力あふれる作品は、今なおさまざまなメディアの中で表現され続けています。本、舞台、バレエ、音楽、映像、マンガ、ゲームなどなど。もちろん映画もそうです。この本は「アリス」のことを書いた本です。

しかも、映画の世界から見た「アリスの本」なのです。

文学としての研究書はたくさんありますが、映像世界からの視点で「アリス」を見つめたものは、あるいは初めてかもしれません。

2009年に日本でもDVD発売された初の映画版『不思議の国のアリス』と、テニエルの挿絵そのままが再現されているとのことで、永らく伝説だった日本未公開の1915年版『不思議の国のアリス』を中心に、原作の誕生秘話や、アリスのキャラクター図鑑、写真を一点づつデジタル処理してシナリオも完全再録したフォーストーリー、その他の作品の解説や、1903～2010年までの「アリス」の映像化リストなど貴重な資料で構成されています。

この本が、一人でも多くのアンのの方々の手元に届き、喜んでいただければ幸いです。



“映画の国のアリス”のすべてを あなたに——。

もくじ

第1章 アリスの誕生	3
第2章 アリスのキャラクターたち	9
第3章 映像世界のアリス	21
「アリス映画」100年史／アリスと特撮	22
『不思議の国のアリス』（1915年）フォーストーリー	24
『不思議の国のアリス』（1903年）フォーストーリー	26
幻の『不思議の国のアリス』を追いかけて	66
『不思議の国のアリス』主な映像化作品紹介	67
ディズニーの世界のアリス	74
付録 アリスト（「アリス映像」リスト）	75
あとがき	79



第 1 章

アリスの誕生





『アリス』の誕生

1862年7月4日、午後。

ルイス・キャロルことチャールズ・ドジソンと友人ロビンソン・ダックワース、学寮長のところのリテル三姉妹たちは、テムズ川でボート遊びをしていた。

「黄金の午後」と呼ばれる時。

リテル家の中の娘アリスは、ドジソンの話す即興の作り話が大好きで、その時に聞いた話が楽しくて、もう一度読みたいから書いてほしいとせがんだ。ドジソンはそれに応え、約二年の歳月かけて手書きの本をつくり、

「親愛なる子供へ、クリスマスプレゼントとしてあの夏の日の思い出を贈ります」と書き添えてプレゼントとしてアリスに手渡した。

この時に編集した物語をベースに加筆修正を重ね、風刺画家ジョン・テニエルによる素晴らしい挿絵を使い、1865年、マクミラン社から出版されたのが「不思議の国のアリス」だったのだ。ドジソンはこの本でペンネームをルイス・キャロルとした。

最初に印刷された2,000部は、イラストの仕上がりが気に入らなかったためテニエルがNGを出して自主回収となり、その後すぐ改訂されその年の暮れに発売された。この作品は大成功し、数年後にはアメリカでも発売され、またたく間にベストセラーとなった。これで大成功し富と名声を得たルイス・キャロルは、1871年には続編の「鏡の国のアリス」を出版している。

オックスフォード大学の一介の数学者が少女に聞かせるために作り上げた童話。奇想天外なその内容はその後、舞台芸術や絵画などの色々な世界にも影響を与え始めた。

ビクトリア朝時代に開花した英国児童文学の象徴「不思議の国のアリス」は、“ファンタジー小説の古典”として、今でも世界中の子供たちに読まれ続けている。



第2章

アリスの キャラクターたち



「不思議な国のアリス」にはさまざまなキャラクターが登場します。

ここで主なキャラクターを紹介しましょう。

可能なものはテニエルによるオリジナルのイラストと、映像化されたものとを比較しやすく並列掲載しています。

また、キャラクターの解説には、原作のものよりは映像から判断できることを重視して独自の解釈を加えて現代風にして書きました。

なお内容については、基本的には1915年、1903年の映画版を反映して表記しています。



アリス



水辺でお姉さんとうっかりうたたねをした時、慌てて走るチョッキを着たウサギを発見し、それを追いかけてワンダーランドで未知なる体験する少女。一時、幽体離脱していたとの説もある。

好奇心が強く、行動的で、人のことは気にせずけずけもの言う性格のためどんどん変わった連中と出会い、結果、冒険旅行を重ねることとなる。

状況に合わせての行動は比較的ニガテなタイプで「動物会議」で禁句を連発する。

少しキレやすく飽き症。

人の留守宅に勝手にずけずけと上がったり、コワイ女王様と対等に話をしたり、殺し屋が襲って来ても立ち向かうだけ腹は座っている。きつとどこでもやっつけていけるタイプだ。





アリスの性格について

アリスの性格は客観的に見て「大変よろしくない」。

「子供っぽい」ともとれるのだが、出来事と照らし合わせてみると、

- ・喜怒哀楽が激しい（自分の涙で溺れる）
- ・おせっかい（トランプの庭師や裁判の行方を心配）
- ・動物好き（出会ったいろいろな動物と会話）
- ・食いしん坊（タルト好き、サイズの変わるクッキー、ドリンク、キノコなど）
- ・好奇心旺盛（色んなことに首を突っ込む、穴にまで飛びこむ、木の幹にも入る）
- ・無鉄砲で後先を考えない（ウサギの家・公爵夫人の家に勝手に入る）
- ・無責任で勝手な所がある（赤ん坊を預かって勝手に捨てる）
- ・結構議論好き（チェシャ猫との会話）
- ・負けず嫌い（クロッカー・処刑人との戦い）
- ・詩が好き（芋虫に聞かせる）
- ・ゲーム好き（クロッカー）
- ・自己中心的（裁判にチャチャを入れるのに自分が指されると逆ギレするなど多数）
- ・空気が読めない（動物会議でヒンシュクを買う）
- ・優しいところ（ネズミにたき火をしてやる、ニセウミガメを気遣う、ウサギの手袋と扇子を探してやる などなど）

まさに天真爛漫な少女のそれである。時に優しく、時に残酷で、おしゃれで、明るく涙もろい。心の命ずるままの純真さ。失敗と成功を繰り返してゆく。冒険の話の主人公にはうってつけであろう。

この破天荒なキャラクター設計こそが、物語最大の魅力に違いない。





白ウサギ

アリスに追われることで彼女を不思議の国へ誘うことになる、いわゆるナビゲーター。

コモリ傘やラッパ、扇子に手袋などおしゃれ小物にも気を使う。

また、TPOに合わせて衣装を替えるセンスもあり、基本はイギリス紳士のようなだ。

性格はいたって慌て者。しかも怖がりで自己中心的、ブツブツと独り言も多い。

クロッキーが結構うまいので、動物的な運動神経が発達しているのだろう。

王様の仕事を請け負っており、ラッパを吹いて行進に参加したり裁判にも立ち会う。

一戸建て（二階あり）の持ち家が在るので暮らし向きは中流以上。





第3章

映像世界のアリス



1915年版



1903年版



不思議の国のアリス (1915 年版)

フォトストーリー



1915 年
Alice in Wonderland (米)
監督・脚本・出演：W. W. ヤング
アリス：ヴィオラ・サヴォイ
52 分 (完全版)
白黒、無声映画

Director: W.W. Young
Writers: Lewis Carroll (novel) and
W.W. Young (writer)
Distributed by
American Film Manufacturing Company
Nonpareil Feature Film Corp
Release date(s) January 19, 1915
Running time 52 min

Starring Viola Savoy

W. W. ヤング監督・脚本による「1915 年版」は、原作の挿絵を描いたジョン・テニエルの素晴らしいイメージーションをそのまま、忠実に再現した伝説のバージョン。永らく語られながらも日本で公開されることはなかった。『アリス』の特徴は、何と言っても奇妙に擬人化されたキャラクター達と不思議な世界だが、この作品では着ぐるみやかぶりモノを多用して効果を上げている。主な動物はギミック（機械装置）が入っていて口が動いたり、まぶたを閉じたりする。慌てモノの白ウサギ、濡れるネズミ、ドーードー鳥のクオリティも素晴らしいし、フクロウ、鶯など動物会議のメンバーの造形もがんばっている。ライオンらしきものとサルも見えるが逆にチャッチクって笑える。思慮深い芋虫はイメージどおりだし、公爵夫人と料理番は夢に出て来そうな恐ろしいまでの迫力だ。料理番がタイミングを計って胡椒をまくシーンは緻密な演出である。木の上でニヤニヤ笑うチェシャ猫は二重露光を駆使して身体を消してみせる。ニセウミガメも口が開くギミックまで

付き素晴らしい出来。腕がぶらぶらなグリフォンはさながら仮面ライダーに出てくる怪人のようで、本当に海の中から上陸するロブスターはストライプの粹なズボンで細い多足のイメージを守ってるし、ダンスをするセイウチもおしゃれで出来もいい。けっこう珍しいキャラクターも多数登場するのだ。

また、この映画はファンタジーにありがちなセット撮影のみに留まらず、海、山、森、草原など野外ロケを敢行。ライブ感あふれる映像に仕上げている。なお、この「1915 年版」のストーリーには、“イカレ帽子屋と三月ウサギのお茶会”シーンが無く、代わりにロバート・サウジイの教訓詩のパロディである「ウィリアム父さん」や、動物会議、詩を吟じるニセウミガメのシークエンスが入っている。帽子屋は裁判のシーンにちょこっとだけ出演する。ヴィオラ・サヴォイは少し大人びているが大げさすぎない微細な表情や所作が美しく、元気なアリスであった。

1903 年版、1915 年版ともに撮影から相当年が経過しており、収録画像の画質はいい状態ではありません。あらかじめご了承下さい。



■ 1 アリスのお家

ある夏の日タルトを手作り
(アリスの母親タルトづくり)



こっそり
つまみ食いしたいけど…

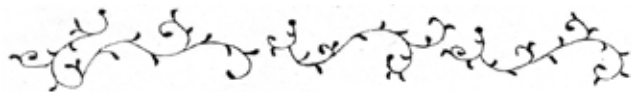


■ 2 散歩道

(姉妹でお出かけ)

眠る直前に何かをしたり
見たりしたら——
それが夢に出てくるの

(ウサギを発見)



ミニミニギャラリー 『地下の国のアリス』

『地下の国のアリス』に添えられたルイス・キャロルの
自筆イラストを、全点収録しました。
これを見るだけで、『不思議の国のアリス』のもとがこ
の一冊にあることがわかります。





(フクロウを見つける)
(木の上の猫を見つける)
(農家に入って小ブタを見つける)

“この小ブタ 私の知ってる
誰かさんの名前がぴったりだわ”

(お花畑を通って)



■ 3池のほとり (不思議の国へ)

アリスは夢の国に
足を踏み入れました

(眠るアリス)



(ウサギが現れ手招きします)



小さな扉の鍵でした



(アリスの魂がついていく)



“不思議の国”

(草原を越え)
(穴の中に入ります)



■ 4 ウサギの穴

ウサギの穴



ケーキを食べると……



つづきは書籍版でお楽しみ下さい。

不思議の国のアリス (1903 年版)

フォトストーリー



1903 年

Alice in Wonderland (米)

監督・脚本・撮影・出演：セシル・M・ヘプワース、

共同監督：パーシー・ストウ

アリス：メイ・クラーク

8分 (完全版)

白黒、無声映画

Directors: Cecil M. Hepworth、Percy Stow

Writers: Lewis Carroll (novel) and Cecil M. Hepworth (writer)

Cinematography: Cecil M. Hepworth

Distributed by American Mutoscope and Biograph Company

Edison Manufacturing Company

Kleine Optical Company

Production Company Hepworth & Co.

Release date(s) October 17, 1903

Running time 8 min

Cast

May Clark (Alice)、Cecil M. Hepworth

(Frog)、Geoffrey Faithfull (Cards)、

Stanley Faithfull (Cards)、Mrs. Cecil

Hepworth (White Rabbit/Queen)、

Norman Whitten (Fish/Mad Hatter)

Dog (Blair)

1903 年製作で、セシル・M・ヘプワース監督、メイ・クラーク主演による記念すべき『アリス』の世界初映画化作品である。セシル・M・ヘプワースは、監督以外にふてくされて外に座るカエル役で出演もしている。またヘプワースは自分の奥さんまでも白ウサギと女王様役で引っ張り出している。奥さんに着ぐるみを着せているわけだ。白ウサギの足はちゃんと逆関節に見えるようになってい

る。当時まだフィルムの値段が高かったのでハイライトシーン集のような短編で、アリスは都合よく最初からウサギの穴の前に寝ていたりする。アリスが穴に入る時良く見ると穴のふちに顔をぶつけているのがわかる。また、この映画の見所でもあるアリスの縮小と巨大化だが、まだズーム機能がな

いのでカメラのセッティングを順次置き換えたり、黒バックの前で演じるメイ・クラークがゆっくりと画面に近づいていたりして涙ぐましい努力が見える。チェシャ猫と野犬は本物を二重露光で焼き付けている。ちなみに犬はブレアーとなっている。

こちらのバージョンには「イカレたお茶会」のシークエンスがあり、帽子屋が立ち上がって眠りネズミをポットに突っ込むシーンでは、掴んでいる帽子屋が揺らして生きているように見せている。トランプの行進は子供を使っており声援を送るアリスはさながら「息子の文化祭の仮装行列を見に来た母親」のように微笑ましい。

当時の特撮技術で『アリス』のエッセンスが全て詰まった貴重な8分間。100年以上前の文化遺産である。



■ 1 穴に落ちるアリス

(眠るアリス)



(穴に落ちるアリス)

アリスは夢の中で
白いウサギを追いウサギ穴に落ち





■ 2 穴の中

(穴を走るウサギ)
(追いかけるアリス)



■ 3 ドアの部屋

沢山ドアのある広間に出ました
(アリス小さなドアを見つける)



(テーブルのピンを取るアリス)
“私を飲んで”
(飲むアリス)

「アリスト」 または 「不思議の国のアリス」 関係映像リスト (抜粋)

1903年

Alice in Wonderland (英)

監督：セシル・M・ヘプワース
アリス：メイ・クラーク
※無声映画 (再録作品)

1910年

Alice in Wonderland

監督：エドウィン・ポーター
※Edison Studios (エジソン・スタジオ)

1915年

Alice in Wonderland (米)

監督：W. W. ヤング
アリス：ヴァイオラ・サヴォイ
※無声映画版 (再録作品)

1928年

Alice Through a Looking Glass

監督：ウォルター・ロング
アリス：不明

1931年

Alice in Wonderland (米)

監督：バド・ボラード
アリス：ルース・ギルバート

1933年

不思議の国のアリス (パラマウント版)

Alice in Wonderland (米)

監督：ノーマン・Z・マクロード
出演：シャーロット・ヘンリー (アリス), ゲーリー・クーパー, ケーリー・グラント
日本公開作品

1937年

Alice in Wonderland

監督：ジョージ・モア・オフエリアル
アリス：アーシュラ・ハンレイ
英国のショートTVムービー

1946年

Alice

監督：ジョージ・モア・オフエリアル
アリス：ヒビアン・ピカレス
イギリスのショートTVムービー

1948年

Lou Bunin's ALICE IN WONDERLAND

監督：ルー・ブーニン
アリス：キャロル・マーシュ

1949年

Alice au pays des merveilles (仏)

監督：ダラス・ボウワー
アリス：キャロル・マッシュ
フランス制作
※実写とパペットによるミュージカル

1951年

ふしぎの国のアリス

Alice in Wonderland (米)

監督：クライド・ジェロニミ (ジェロニモ説アリ) ほか
アリスの声：キャスリン・ポーメント
※ウォルト・ディズニーによるアニメーション作品

1954年

Charlie McCarthy in ALICE IN WONDERLAND

監督：モーリー・ホランド
アリス：ロビン・モーガン
※クラフト・テレヴィジョン・シスターの1エピソード

1955年

ALICE IN WONDERLAND

監督：ジョージ・シェファール
アリス：ジリアン・バーバー
NBC TVプロダクション制作

1965年

ALICE

監督：ギャレス・デイヴィス
アリス：デボラ・ワトリング
※英国テレビシリーズ「The Wednesday Play」の1話

1966年

Alice in Wonderland or What's a Nice Kid Like You Doing in a Place Like This?

監督：アレックス・ロヴィ
アリスの声：ジャネット・ウォルト
※ハンナ・バーベラ・プロダクションのアニメーション

1966年

ALICE THROUGH THE LOOKING GLASS

監督：アラン・ハンドレー

アリス：ジュディ・ロラン

1966年

Alice in Wonderland(英)

製作・監督：ジョナサン・ミラー
アリス：アン＝マリー・マリック
※BBCテレビシリーズThe Wednesday Playの1話

1966年

**不思議の国のアリス・イン・パリ
Alice of Wonderland in Paris**

別題：Alice in a New Wonderland (米)
監督：ジーン・ダイチ
アリスの声：ノルマ・マクミラン
アニメーション。

1970年

Alice au pays des merveilles

監督：ジョン・クリストファー・アペティ
アリス：マリー・ペロニク・モーリン
フランス制作

アリス・イン・クラシックス 電子無料立読版
無料

『アリス・イン・クラシックス』は、
全国の書店でお買い求めいただけます。

当社直販を希望の方は下記 url へ
<http://www.seishinsha-online.co.jp>

青心社



Alice in Classics